

# 赤十字秋田

Japanese Red Cross Akita Journal



■編集・発行

人間を救うのは、人間だ。

日本赤十字社秋田県支部

〒010-0922 秋田市旭北栄町1-5  
TEL 018-864-2731 FAX 018-864-6852  
U R L http://www.akita.jrc.or.jp/  
E-mail info@akita.jrc.or.jp

## 熊本地震

## 秋田からも派遣

4月14日(木)21時26分、同16日(土)1時25分。  
最大震度7、マグニチュード7.3の大地震が熊本地方を襲いました。

この地震により、益城町、西原村、南阿蘇村を中心に死傷者1,735名、家屋倒壊149,175棟(6月24日消防庁発表)など甚大な被害が出ました。

日赤秋田県支部と秋田赤十字病院では、被災地を支援するため、医療救護班、こころのケア班、病院支援スタッフを派遣しました。

### 医療救護班

期間:4月22日~27日  
班員:1班9名  
場所:阿蘇市、南阿蘇村

4月22日早朝、医師1名、看護師3名、主事2名、薬剤師・連絡調整員・ボランティア各1名)の9名から成る医療救護班が熊本へ出発しました。

主に阿蘇地域(阿蘇市、南阿蘇村)において救護所診療、巡回診療などを展開しました。



### こころのケア班

期間:5月25日~31日  
班員:助産師2名、臨床心理士1名、事務職員1名  
場所:益城町役場

発災から1か月を過ぎると、救護活動は、「救護所や病院での支援」から「避難所の住民とその支援者への支援」へと移っていました。私たちは益城町役場で活動。役場職員は地震発生以来「住民を支える我々が休んでいる場合ではない」と気を張り続けていました。

このため私たちは、職員の被災体験やこれまでの活動を傾聴したほか、ハンドマッサージやストレッチ体操、肩もみのほか、温かいお茶を提供し大変喜んでいただきました。ストレスが軽くなると、笑顔や挨拶が増え、住民への温かい対応につながります。その様子を見て、被災者でもあり支援者でもある人たちへのこころのケアの大切さが身に染み込ませられた体験でした。

(秋田赤十字病院看護師長 大原 純子)



ハンドマッサージをすると、自然と語り始める職員。臨床心理士も耳を傾けます。

### 病院支援

期間:①4月29日~5月4日 ②5月7日~13日  
班員:①医師1名 ②医師1名、看護師2名  
場所:熊本赤十字病院

5月7日~13日まで熊本赤十字病院へ業務支援に行ってきました。私は一般病棟で姫路赤十字病院の方と共に、主に看護業務を行いました。

患者さんに「どこから来たの?」と聞かれ「秋田です」と答えると、ほとんどの方が驚き、中には涙を流して感謝の言葉をくださった患者さんもありました。

病院の職員にも、被害を受けライフラインは回復していても自宅に住むことができず、避難所や親戚の家から通勤している職員もいました。しかし、みんな元気に頑張っている姿が印象的でした。

北海道から沖縄まで全国の赤十字施設から支援にきており、赤十字のつながりの強さを感じました。これからも復興を願い、支援していきたいと思います。

(秋田赤十字病院看護係長 成田 真理子)



熊本赤十字病院で働く友人に再会。(右が筆者)

## 台風10号の被災地へ

9月2日(金)5時30分、台風10号に伴う災害対策のためDMAT(災害派遣医療チーム)を岩手県に派遣しました。救護班と同様、メンバーは秋田赤十字病院の職員で、災害が起きてから48時間以内の急性期と呼ばれる期間に活動できる専門的な訓練を受けた医師、看護師、業務調整員で構成されています。

今回DMATは、岩手県岩泉町から矢巾町の岩手県消防学校までヘリコプターで運ばれた被災者を診察し、盛岡市内の医療機関へ搬送する活動を行いました。

また、日赤秋田県支部では、日赤岩手県支部へ救援物資(緊急セット)を届けました。



DMATの活動



岩手県支部での救援物資の運搬の様子



赤十字をもっと  
知ってほしい!

# キッズタウン2016・ 職場見学を開催しました!

## キッズタウン



献血のお仕事体験



災害救護のお仕事体験



ドクターヘリの見学

5月21日(土)、日本赤十字秋田看護大学・秋田短期大学を会場に、「赤十字キッズタウン2016」を開催しました。このイベントは、5月の赤十字運動月間の一環として子どもたちを対象に行っており、今年で5回目です。

子どもたちは、赤十字救護服を着ての災害救護体験や、医師・看護師、献血業務、保育士などの仕事を体験。またドクターヘリ見学、炊き出し体験なども行いました。

また、キッズタウンに来場した小学生の方々を対象に、夏休み期間中に日赤秋田県支部、乳児院の2施設において、今回初めて職場見学イベント「赤十字お仕事探検隊」を行いました。

支部では、8月6日(土)、ケチャップライスの炊き出し体験や、防災教育プログラム、支部事務所・倉庫見学、講習体験を行いました。炊き出し体験では、「いつものご飯より美味しかった」との感想もあり、大変好評でした。

乳児院では、7月30日(土)、子どもたちとのふれあいなどを行いました。乳児院で暮らす可愛い赤ちゃんたちとのふれあいに、参加者も大満足の様子でした。

キッズタウン2016、職場見学ともにたくさんの方々にご参加いただき、ありがとうございました。

スタッフ一同心より感謝申し上げます。

## 職場見学



炊き出しの体験



支部の見学



乳児とのふれあい

## 乳児院 『里親支援機関』に 指定されました

秋田赤十字乳児院は今年度より、秋田県から「里親支援機関」に指定され、里親制度普及促進事業と里親トレーニング事業の委託を受けました。

里親制度普及促進事業として、「<sup>あなた</sup>里親に会えて本当に良かった。」をテーマにポスターやチラシを作成し、県内各所に配布しました。また、秋田市内の小学校を訪問し教職員を対象とした出前講座を開催しました。

里親トレーニング事業としては、里親さんへ養育のノウハウや「そだれん」(怒鳴らない子育て練習法)等の勉強会を実施しております。

県民の皆様に里親制度に対し少しでも興味・関心を持ってもらえるよう様々な情報を発信することで、一人でも多く里親さんが増え、自分の家庭で生活できない子どもたちが、里親さんの温かい家庭で成長できるよう願います。

※『里親支援機関』とは、里親制度の普及啓発や里親委託などを推進する専門機関のこと。

里親について関心のある方は  
乳児院までお問い合わせください。  
(TEL:018-884-1760(平日のみ))



あなた  
**里親**に会えて、  
**本当に良かった。**

日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

里親制度に興味関心のある方は  
秋田赤十字乳児院 検索

## 血液センター

# 献血について学んでみませんか？

秋田県赤十字血液センターでは、学校や企業へお伺いし、生徒や社員の皆様を対象に献血セミナーを実施しております。

現在は、10代～30代の若年層からの献血協力が大幅に減少しております。

少子高齢化が進展する中、輸血用血液製剤や血漿分画製剤けつしょうぶんぶんせいざいの多くは、高齢者の医療に使用されています。将来、安定的に医療機関へ血液をお届けするためにも、若い方々の献血へのご理解とご協力が必要となっております。

「献血はなぜ必要なの?」「献血した血液はどのように使われているの?」などセミナーを通じて献血に触れ合う機会を作ってみませんか?

☆セミナーについてのお問い合わせは

秋田県赤十字血液センター献血推進課 018-865-6712  
(平日 月～金)まで



小学校でのセミナー

## 与次郎駅伝に参加して献血を呼びかけました!



厚生労働省、都道府県、日本赤十字社主催による「愛の血液助け合い運動」を7月の1か月間、全国一斉に行いました。

「愛の血液助け合い運動」は、国民の皆様に対し献血に関する理解と協力を求めるとともに、献血運動の一層の推進を図ることを目的に毎年実施しております。

当血液センターでは、7月30日(土)に行われた「与次郎駅伝 2016」に参加し、県民の皆様へ献血活動の参加を呼びかけました。

血液センターの若手職員がA型・O型・B型・AB型から1名、計4名のチームで参加。雨が降るあいにくの天気でしたが、無事ゴールすることができました。

来年も自らの身を削り献血活動への参加を呼びかけます!!

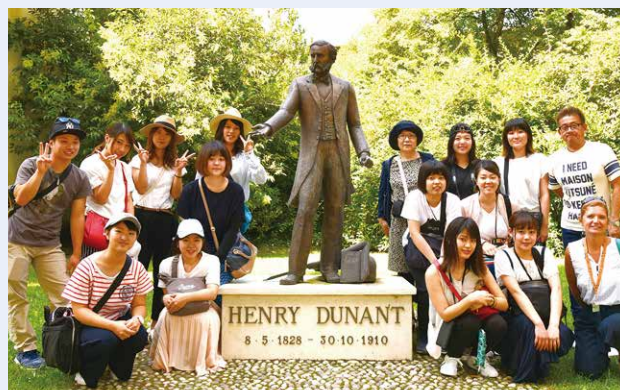
## 大学

# アンリー・デュナンゆかりの地を訪ねて

日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学では、本学学生が参加する赤十字スタディーツアー「アンリー・デュナンと国際赤十字を学ぶ旅」を企画し、8月20日(土)～28日(日)の9日間、イタリアとスイスを訪問しました。

このツアーは、本学が日本赤十字広島看護大学と共催しているもので、赤十字発祥の地を訪問し、国際赤十字の誕生や活動等についての理解を深めるとともに、国連やWHOなどの国際機関が行っている国際救援活動の現状について学ぶことを目的としています。

本年度は本学から看護学部の3年生3名と1年生2名が参加し、アンリー・デュナンが赤十字運動の発想を得たことで知られるイタリアのソルフェリーノ、カスティリオーネをはじめ、スイスのジュネーブでは、赤十字国際委員会(ICRC)、国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)、国連高等難民弁務官事務所 (UNHCR) 等の国際機関を訪問・視察し、担当者による講義や質疑応答を通じて数多くのことを学びました。また、ジュネーブ旧市街にあるデュナンの生家や「赤十字規約」が採決されたアテネ館など、赤十字ゆかりの史跡巡りも行い、文字通り、赤十字精神の原点を肌で感じる感慨深い旅となりました。



デュナン像を囲んで



デュナンの事務所兼住宅であった建物



WHOの大会議場にて

# 平成28年度 赤十字講習会開催予定表

日本赤十字社秋田県支部事業推進課 TEL.018-864-2731

## 講習申込み方法

地域、職場、学校等で開催を希望する場合は…  
お早めに日赤秋田県支部までお問合わせください。  
日程等調整後、文書でお申込みいただき、指導員を派遣します。

講習会名	期 日	会 場	受講料 (教材費)	申込み期限	備 考
救 急 法 基礎講習 + 救急員養成講習	平成28年11月5日(土) 6日(日)・13日(日)の3日間	能代ふれあいプラザ サンピノ	3,200円	11月2日	・講習時間 初 日 9:30~15:00(基礎) 2日目 9:30~17:30(救急員養成) 3日目 9:30~17:30(救急員養成)  ・講習時間 初 日 13:00~17:00(基礎) 2日目 9:00~17:00(救急員養成) 3日目 9:00~17:00(救急員養成)
	平成28年11月12日(土) 13日(日)・19日(土)の3日間	大曲交流センター		11月10日	
	平成28年12月3日(土) 4日(日)・11日(日)の3日間	秋田県社会福祉会館		12月1日	
	平成29年2月25日(土) 26日(日)・3月4日(土)の3日間			2月23日	

### ●資格継続研修

講習会名	期 日	会 場	受講料 (教材費)	申込み期限	備 考
救 急 法	平成29年1月28日(土)	秋田県社会福祉会館	800円	1月26日	・講習時間 13:00~17:00 ・受講資格 平成25年4月1日以降に資格取得し、その資格喪失まで 1年以内の者 ・資格の継続 元々の資格喪失日から5年

## リーダーってなんだろう! JRCリーダーシップ・トレーニング・センターを開催しました

7月23日(土)・24日(日)の2日間、秋田市のユースパルを会場に、青少年赤十字(JRC)加盟校の中学生・高校生を対象としたリーダーシップ・トレーニング・センターを開催しました。

“皆で話し合うことが必要”なくつかのグループワークを通して、新たなリーダー像を探りました。

閉講式後、参加者から「楽しかった」「意見を発することの大切さを学んだ」「リーダー像が変化した」等の感想が聞かれました。



防災コミュニケーションワークショップ



一次救命処置の講習

## 赤十字奉仕団員募集中! ~皆様のご参加をお待ちしています~

赤十字奉仕団とは、赤十字の使命とする人道的な諸活動を実践しようとする人々が集まって結成されたボランティア組織で、赤十字事業推進のためのお手伝いをしていただいています!



町民祭で実施するリラクゼーションの確認をする奉仕団員

詳しくは日赤秋田県支部にお問い合わせください  
TEL 018-864-2731

## 義援金を受付しております

日赤秋田県支部では、4月に発生した熊本地震災害、8月に発生した台風10号による被害により、被災された方々への見舞金である災害義援金の受付をしているほか、5年が経過した東日本大震災への義援金も継続して受付しております。

お寄せいただいた義援金は手数料などを一切いただくことなく、全額を各被災自治体に設置される義援金配分委員会を通じて被災された方々にお届けいたします。

引き続き、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

### ○受付中の災害義援金

義援金名称	受付期間
平成28年台風10号等災害義援金	平成28年10月31日まで
平成28年熊本地震災害義援金	平成29年3月31日まで
東日本大震災義援金	平成29年3月31日まで

※秋田銀行、北都銀行、郵便振替にて取扱っております。窓口での取り扱いの場合、送金手数料は無料です。受領書を希望される方は「受領書希望」と明記してください。

## 平成29年度より 社員制度が変わります

1. 名称の変更  
一般に分かりやすい名称に変更します。  
・社員 → 会員    ・社費 → 会費  
・社資 → 活動資金
2. 納入額  
納入額によって「会員」または「協力会員」となります。  
会 員 → 年額2,000円以上  
協力会員 → 年額500円以上2,000円未満
3. 「会員」と「協力会員」  
異なる点は次のとおりです。  
会 員 → 運営に参画する支援者  
協力会員 → 幅広い支援者  
活動資金の収納業務につきましては、現行の方法から変更となる点はございません。  
引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。